

## 解説 1

英文は暗唱できるまで繰り返し音読すること。

- 文より小さい2語以上の意味のまとまりのうち、その中心に〈主語＋動詞（SV）〉構造を含むものを〈節〉、SV構造を含まないものを〈句〉という。
- 語・句・節の意味は、名詞・動詞・形容詞・副詞の品詞的な役割で分類できる。

形容詞句：名詞を修飾する。修飾された名詞と合わせて名詞句になる。SV構造を持たない。

- This horse is very beautiful. 「この馬はとても美しい。」  
※ very beautiful は、主語の名詞 This horse を修飾する〈形容詞句〉。  
形容詞 beautiful を修飾する very は副詞（名詞以外を修飾するものはすべて副詞）。
- Can I get you something to drink? 「何か飲み物を持てきましょうか。」  
※ to drink 「飲むための」は、名詞 something を修飾する〈to不定詞の形容詞的用法〉で、形容詞句。something to drink 「何か飲むもの」全体は〈名詞句〉。
- I found an old letter written in French. 「私はフランス語で書かれた古い手紙を見つけた。」  
※ written in French 「フランス語で書かれた」は、名詞 (an old) letter を修飾するので、〈過去分詞〉writtenに導かれる形容詞句。an old letter written in French 「フランス語で書かれた古い手紙」全体は名詞句。〈現在分詞〉にも同じ用法がある。

形容詞節：名詞を修飾する。修飾された名詞と合わせて名詞節になる。SV構造を持つ。

- I know a boy who has four sisters. 「4人姉妹を持つ男の子を知っている。」  
※ 関係代名詞 who に導かれる who has four sisters が、名詞 a boy を修飾している。  
このとき who は S に、has は V にあたり、SV構造が成立している。よって、形容詞節。  
a boy who has four sisters 「4人姉妹を持つ男の子」全体は名詞節。
- I remember the time when we first met. 「私たちが初めて会ったことを覚えている。」  
※ 関係副詞 when に導かれる when we first met が、名詞 the time を修飾している。  
このとき we は S に、met は V にあたり、SV構造が成立している。よって、形容詞節。  
the time when we first met 「私たちが初めて会ったこと」全体は名詞節。

## A 演習 1：基本問題

下線部が修飾する語を指摘し、さらに日本語に訳しなさい。

例 Many cars are running on the streets.

「多くの車が通りを走っている。」

1. Can you see something flying up there?

「

2. Do you have time to talk?

「

3. This is the first picture my son drew.

「

## 演習 1：解答・解説

英文は暗唱できるまで繰り返し音読すること。

1. something 「あそこを飛んでいる何かが見えますか。」  
※ flying (up there) 「あそこ（上空）を飛んでいる」は、名詞 something を修飾する現在分詞。flying up there は名詞を修飾し、SV構造を持たない形容詞句。
2. time 「お話しする時間がありますか。」 ※ to talk 「話をするための」は名詞 time を修飾する to 不定詞の形容詞的用法なので、形容詞句。
3. (the first) picture 「これは私の息子が初めて描いた絵だ。」 ※ (「語」を指摘するので、本来は名詞の中心となる picture だけが正解だが、ここでは the first を含めても正解とする) that が省略されているが、(that) my son drew は名詞 the first picture を修飾する関係代名詞節。my son と drew の SV 構造を持つ形容詞節。draw 「(線を引いて) 絵を描く」、paint 「(筆で塗って) 絵を描く」。

## 解説 2

英文は暗唱できるまで繰り返し音読すること。

名詞句：【重要】文の主語や目的語、補語になる。SV 構造を持たない。

- She has a lot of hats. 「彼女はたくさんの帽子を持っている。」  
※動詞 have の目的語である a lot of hats は〈名詞句〉。
- I want to eat popcorn. 「ポップコーンが食べたい。」  
※ to eat popcorn 「ポップコーンを食べること」は、〈to 不定詞の名詞的用法〉で、動詞 want 「欲する」の目的語。
- Getting enough sleep is very important. 「十分な睡眠をとることはとても大切だ。」  
※ Getting enough sleep 「十分な睡眠をとること」は〈動名詞〉taking が導く名詞句。主語。
- 形容詞句と、それが修飾する名詞を合わせた全体は名詞句となる（解説 1 参照）。

名詞節：【重要】文の主語や目的語、補語になる。SV 構造を持つ。

- I know that he is the key person for the project.  
「私は、彼がそのプロジェクトのカギとなる人物であることを知っている。」  
※接続詞 that 「～ということ」によって、that 以降が SV (he is) を含む名詞節となり、動詞 know の目的語になっている。〈that 節〉と呼ばれる。  
また、この名詞節は、〈主節〉I know に対する〈従属節〉とも呼ばれる。
- I don't understand what you're talking about.  
「あなたが言っていることが理解できない。」（関係代名詞の訳）  
「あなたが何を言っているのか理解できない。」（間接疑問文の訳）  
※ what 以降は動詞 understand の目的語。you're talking が SV なので名詞節。  
関係代名詞（what は先行詞をとらない）とも、間接疑問文とも解釈できるが、意味は同じ。
- 関係代名詞と関係副詞が導く節は先行詞を修飾し、全体として名詞節になる。

## B 演習 2：基本問題 日本語に訳しなさい。

1. You need to work from nine to five, five days a week.  
「  
」
2. Laughing all the time is good for your health.  
「  
」
3. Do you know who that woman is?  
「  
」

## 演習 2：解答・解説

英文は暗唱できるまで繰り返し音読すること。

1. 「あなたは 9 時から 5 時まで、週に 5 日働く必要がある。」 ※ to work は名詞句 (to 不定詞の名詞的用法) 「働くこと」で、動詞 need の目的語。文を直訳すると、「あなたは～働くことが必要だ」となる。なお、from nine to five 〈時・期間〉と five days a week 〈頻度〉はどちらも副詞句。
2. 「いつでも笑っていることは健康によい。」 ※動名詞 laughing が〈時〉を表す副詞句 all the time を伴って主語になっている。所有格 your は、この場合は「(一般的な) 人の」の意味で、とくに訳す必要はない。
3. 「あの女性が誰か知っていますか。」 ※ who that woman is は動詞 know の目的語なので名詞節。who に先行詞がないので、この文は間接疑問文と解釈する。Who is that woman? 「あの女性は誰ですか。」の疑問文が目的語 (目的節) として組み込まれた形。

年 組 番 氏名

実施日 年 月 日

A	/3
B	/3

検印

## 解説 3

英文は暗唱できるまで繰り返し音読すること。

副詞句：【重要】名詞以外を修飾し、〈場所〉・〈理由〉などを表す。前置詞に導かれることが多い。

□ The Industrial Revolution began in 18th century England.

「産業革命は18世紀のイングランドで始まった。」

※ in 18th century England は〈場所〉を表す、前置詞に導かれた、

SV 構造を持たない副詞句。動詞 began を修飾している。

名詞以外を修飾するものは、原則、すべて副詞と考える。

□ I think the process is even more important than the result.

「過程は結果よりもずっと大切だと私は思う。」

※ even more は〈程度〉を表す副詞句で、形容詞 important を修飾している。

□ She went out to buy a swimsuit. 「彼女は水着を買いに出かけた。」

※ to buy a swimsuit 「水着を買うために」は〈理由〉を表す副詞句で、

〈to 不定詞の副詞的用法〉。動詞 went out 「外出した」を修飾している。

□ Without this key, you can't open the safe. 「このカギがないと金庫は開けられないぞ。」

※ Without this key 「このカギがなければ」は〈条件〉を表す、SV 構造を持たない副詞句。

you can't 以降の節を修飾している。

副詞節：【重要】従属節として、主節を修飾する。SV 構造を持つ。

□ If you like sweets, you should try this. 「甘いものが好きなら、これを食べてみるべきだよ。」

※ If you like sweets 「もしあなたが甘いものが好きなら」は〈条件〉を表し、

SV 構造 (you like) を持つ副詞節。主節の you should ～ に対し従属節とも呼ばれる。

□ When we first met, we didn't like each other.

「初めて会ったころ、私たちはお互いを好きではなかった。」

※従属節 When we first met は〈時〉を表す副詞節。we didn't 以降の主節を修飾している。

## C 演習 3：基本問題 日本語に訳しなさい。

1. Because of the heavy snow, all the flights were canceled.

「

」

2. In Spain, many people eat five times a day.

「

」

3. Please call me when you get home.

「

」

4. Because it snowed heavily yesterday, many cars were stuck for a long time.

「

」

## 演習 3：解答・解説

英文は暗唱できるまで繰り返し音読すること。

1. 「大雪のため、すべての航空便は欠航となった。」

※ Because of the heavy snow 「大雪が原因で」は〈理由〉を表す副詞句。コンマに続く主節を修飾している。

2. 「スペインでは、多くの人が1日5食である。」 ※ In Spain は〈場所〉、five times a day は〈頻度〉を表す、many people eat を修飾する副詞句。

3. 「帰宅したら電話をください。」 ※ when you get

home は主節 (Please) call me を修飾する〈時〉を表す副詞節。

4. 「昨日大雪が降ったので、多くの車が長い間動けなかった。」 ※ Because ~ yesterday が〈理由〉を表す副詞節（従属節）で、many cars 以降の主節を修飾している。for a long time は〈時・期間〉を表す副詞句。なお、この because は接続詞で、問1の because は前置詞。

## 解説 4

英文は暗唱できるまで繰り返し音読すること。

- 名詞節も副詞節も、主節に対する従属節として働く。
- 名詞は〈文の要素〉にあたるので、名詞節は文の主語・目的語・補語になる。  
副詞は〈文の要素〉にあたるらないので、副詞節はなくても文が成立する。
- 【重要】〈条件〉や〈時〉を表す副詞節内では、未来のことでも現在形で表すのが基本。
- We will visit the family grave together if he comes home tomorrow.  
「明日、彼が家に帰ってきたら、一緒にお墓参りする予定だ。」  
※ if 節は〈条件〉を表す副詞節で、We ~ together の主節を修飾している。  
「彼が帰ってくる」という条件が実現した〈現在〉を仮定しての表現なので、will は使わない。  
(※ただし、「明日、彼が帰ってくるつもりなら」という〈意志〉を含めたいとき、comes を will come や be going to come と表現することはある。)
- cf. I don't know if he will come home tomorrow.  
「明日、彼が家に帰ってくるのかどうか、私は知らない。」  
※ if 節は、動詞 know の目的語である名詞節。  
tomorrow があるので、will や is going to などの未来表現が必要。
- Please give this to Mike when you see him. 「マイクに会った時にこれを渡してください。」  
※ when 節は〈時〉を表す副詞節で、主節 Please give this to Mike を修飾している。  
「マイクに会う」という時が実現した〈現在〉を仮定した表現なので、will は使わない。
- cf. Please tell me when you will see him. 「いつ彼に会うつもりか、私に教えてください。」  
※ when 節は、動詞 tell の直接目的語となる名詞節（彼は間接目的語）。  
〈予定〉や〈意志〉を表す節なので、will を使う。

## D

## 演習 4：基本問題

下線部が名詞節か副詞節かを答え、さらに全体を日本語に訳しなさい。

- I wonder if I can make friends at school. ( )  
「  
」
- Don't be too shy if you want to make new friends. ( )  
「  
」
- Please call me when you arrive at Tokyo Station. ( )  
「  
」
- Do you know when they will arrive at Haneda Airport? ( )  
「  
」

## 演習 4：解答・解説

英文は暗唱できるまで繰り返し音読すること。

- 名詞節「学校で友達を作れるだろうか。」※ I wonder if ~ 「〜かどうか疑問だ」に続く節は wonder の目的語となる名詞節。名詞節を導く if は whether としてもよい。
- 副詞節「新しい友達を作りたいなら遠慮しすぎはだめだ。」※ 副詞節は文の要素ではないので、置き場所は比較的  
自由。文頭に来てもいいし、文末に来てもいい。
- 副詞節「東京駅に着いたら電話してください。」※ この when 節では〈意志〉は無関係なので will は使わない。
- 名詞節「彼らがいつ羽田空港に着く予定か知っていますか。」※ when 以降は動詞 know の目的語となる名詞節。

年 組 番

氏名

C /4

検印

実施日 年 月 日

D /4

## 解説 5

英文は暗唱できるまで繰り返し音読すること。

- 名詞節は、接続詞（that・if・whether）、疑問副詞（when・where・why・how）、疑問代名詞（who・which・what）などに導かれる。
- Whether you like it or not doesn't matter to me.  
「あなたがそれを好きかそうでないかは私には重要ではない。」  
※ whether 節は主語となる名詞節。Whether or not you like it となることも多い。
- That's why I left early from the meeting.  
「だから私は早々に会議を辞去したのだ（←それが、私が早々に会議から去った理由だ）。」  
※ why 節は be 動詞に続く補語となる名詞節。That/This is why ～ 「だから～だ」で覚える。
- Tell me what you have in mind.  
「思っていることを言いなさい（←あなたが心の中に持っていることを私に言いなさい）。」  
※ what 節は直接目的語となる名詞節。
- 副詞節は when 〈時〉・where 〈場所〉・if 〈条件〉・because 〈理由〉などの接続詞に導かれる。
- Where there's a will, there's a way. 「意志あるところに道がある（ことわざ）。」  
※ where 節は 〈場所〉を表す副詞節で、主節 there's a way を修飾している。
- If it's ok with you, will you give me your phone number?  
「よければあなたの電話番号を教えてくださいませんか。」  
※ where 節は 〈場所〉を表す副詞節。it は漠然とした状況を表す。
- Call me as soon as you hear this. 「これを聞いたらすぐに電話して。」  
※ as 節は 〈時〉を表す副詞節。as soon as は 〈接続詞句〉。

## E 演習 5：基本問題 日本語に訳しなさい。

1. I don't think this book can help.  
「」
2. Will you show me how I can get to the city office?  
「」
3. Run as fast as you can.  
「」
4. The way you think is really interesting to me.  
「」
5. Because I'm not rich, I work part-time at a supermarket twice a week.  
「」

## 演習 5：解答・解説

英文は暗唱できるまで繰り返し音読すること。

1. 「この本は役に立たないと思う。」 ※ this book 以降は動詞 think の目的語となる名詞節。that の省略。I think ～ の目的節の否定は、ふつう主節に否定語をつける。
2. 「どうすれば市役所に着けるかを（市役所への行き方を）教えてもらえますか。」 ※ how 以降は動詞 show の直接目的語である名詞節。
3. 「できるだけ速く走りなさい。」 ※ as fast as you can は、主節 Run を修飾する 〈程度〉を表す副詞節。
4. 「あなたの考え方は私にとって実に興味深い。」 ※ The way you think は主語にあたる名詞節。How you think としてもよいが、\*The way how you think とは言わない。
5. 「私は裕福ではないので、週に 2 回、スーパーマーケットでアルバイトしている。」 ※ Because 節は 〈理由〉を表す副詞節。part-time 〈時〉、at a supermarket 〈場所〉、twice a week 〈頻度〉もそれぞれ副詞（句）。

## F 演習 6：標準問題 下線部の品詞および句か節かを答え、さらに全体を日本語に訳しなさい。

1. I suggested that he eat less. (句・節)  
「  
」
2. There is nothing to worry about. (句・節)  
「  
」
3. Stay where you are. (句・節)  
「  
」
4. He wants his own house before he turns 40. (句・節)  
「  
」
5. It is important for you to do this by yourself. (句・節)  
「  
」
6. You should say no unless you like it. (句・節)  
「  
」
7. Every word he says makes headline news. (句・節)  
「  
」
8. Clean up your room by the time dinner is ready. (句・節)  
「  
」

### 演習 6：解答・解説

英文は暗唱できるまで繰り返し音読すること。

1. 名詞節「私は彼にあまり食べないように勧めた。」  
※ that 節は動詞 suggested の目的語で、he eat の SV 構造なので名詞節。主節動詞が suggest なので、従属節中は時制に関係なく (should +) 動詞の原形になる。
2. 形容詞句「心配することは何もない。」 ※ to worry about は名詞 nothing を修飾する to 不定詞の形容詞的用法。なお、There is 構文は be 動詞の後ろが主語。
3. 副詞句「今いるところになさい (その場を動かないで)。」 ※ where you are 「あなたがいるところ」は、SV 構造を持つ、〈場所〉を表す副詞節。このときの be 動詞は〈存在〉を表すと考えるとよい。
4. 副詞節「彼は 40 歳になる前に自分の家をほしがっている。」 ※ before 節は SV 構造を持つ、〈時〉を表す副詞節。未来のことが現在で表す。turn ～ 「～歳になる」。
5. 名詞句「これを自分でやるのがあなたにとって大切である。」 ※ 形式主語 It を持つ構文。真主語は to 不定詞以下を指す。主語は必ず名詞なので、to 不定詞は名詞的用法。SV 構造を持たないので名詞句。
6. 副詞節「いやなら断るべきだ (いやならいやと言うべきだ)。」 ※ unless 節は、SV 構造を持つ、〈条件〉を表す副詞節。unless は if not の意味と覚えておけばよい (= if you don't like it)。
7. 形容詞節「彼の一語一語がヘッドラインニュース (大見出しのニュース) になる。」 ※ he says は省略されている関係代名詞 that が導く節 (SV 構造) で、名詞 Every word を修飾するので形容詞節。Every word (that) he says 全体は主語なので名詞節。make (the) news 「(具体的な) ニュースになる」。
8. 副詞節「夕食の準備ができるまでに、自分の部屋をきれいかたづけなさい。」 ※ by the time ～ 「～までに」は〈時 (期限)〉を表す接続詞句で、〈時〉を表す副詞節を導く。未来のことが、現在形になる。

年 組 番 氏名

E /5

検印

実施日 年 月 日

F /8